

なるほど!
コープ

飢えに苦しむ子どもたちに給食を CO・OP×レッドカップキャンペーン



レッドカップキャンペーンは、商品購入を通じて飢えに苦しむ子どもたちに給食を届けるための、国連WFP協会(※)による取り組みです。



©WFP / Myanmar

コープで応援10周年 レッドカップキャンペーン

レッドカップキャンペーンは、SDGsで掲げられている「2.飢餓をゼロに」「4.質の高い教育をみんなに」を目標に掲げ、「学校に行けば食べられる、学べる」を合言葉に活動しています。コープもこの取り組みに賛同し、2014年よりキャンペーンをスタート。2016年までの3年間はガーナ共和国、2017年からの3年間はカンボジア王国を支援。2020年度からは寄付先をミャンマー連邦共和国に変更し、児童の栄養改善、就学率・出席率の向上およびミャンマー連邦共和国による自立した学校給食運営のための人材育成を支援しています。

※国連WFP協会とは

飢餓のない世界を目指し活動する国連機関の日本における民間窓口です。



【全国生協での寄付金総額】

2023年度 6,397,244円
10年間(2014～2023年)
総額4,876万5,094円



2月に行われた寄付金贈呈式
左) WFP協会 青木事務局長
右) 日本生協連 藤井代表理事事業担当専務

青木事務局長からのコメント

国連WFPは、子どもたちが学校に通い教育を受け、いろいろな夢をもって職につき自立できる世界を作りたいという思いで活動しています。お寄せいただきました多大なご支援により、飢えと貧困に苦しむミャンマーの子どもたちに命をつなぐ食糧と明日への希望を届けることができました。心より感謝の意を表します。

【キャンペーン取り組み内容】



対象となるコープ商品をお買い求めいただくと



1品につき1円が国連WFP協会に寄付

ミャンマーの子どもたちに学校給食を届けるために使われます

【期間】

2024年10月1日～11月11日

11月10日

【対象商品の一例】全15アイテム



コープヌードルシリーズ



カップスープシリーズ



スープバラエティシリーズ

※各生協によって取り扱い商品が異なります

ミャンマー連邦共和国ってどんな国?

2021年の軍事政権発足後、政治的・社会経済的に複雑な問題に直面しており、食糧不足が深刻化しています。国民の約40%が貧困ライン以下で生活しており、10年近く続いた貧困削減の進展が帳消しになりました。武力衝突、経済破綻、食糧価格の高騰などの結果、1,320万人が食料不足、5歳未満の子どもの3人に1人近くが発育阻害という状況です。そのような中、国連WFPは栄養強化ビスケットの配布、地元農家や学校菜園からの食材で調理する温かい給食の提供などを行なっています。

出典:国連WFP

キャンペーン詳細はこちら▶

